

伊藤武氏死去

同志社大ラグビー部を監督
同大、全国初V監督



大学選手権初
優勝に導いた
伊藤武(いと

う・たけし）氏が、20日正午ごろ、病気のため京都左京区静市市原町715の自宅で死去した。71歳。

同大ラグビー部監督として1980年度の全日本大学選手権で初優勝に導いた伊藤武さん(71)が20日、京都市内の自宅で亡くなつた。同大の一時代を築いた指導者の死を去る、京都のラグビー関係者たちは惜しんだ。

突然の訃報に、OB会の同志社ラグビークラブ名譽会長の井上治

美さん(74)は「持病はあつたが元気そだつた。大事な人を『こした』と悲しんだ。同大ラグビー部時代の1学年後輩に当たる伊藤さんは、ともに全日本学生代表としてユーチューランド代表と対戦した仲間でもあつた。

80年度、伊藤さんに率いられた同大は関東の壁を破り、大学日本

一に、井上さんは「監督として同大の一つの歴史をつくってくれた」と足跡をたたえる。監督を退任した82年度から井上さんとともにコーチを務め、82～84年度の大学選手権3連覇にも貢献した。井上さんは「ジビアな事も單刀直入に伝えれる人柄で、誰からも慕われるコーチだった。

同大OBで関西ラグビー協会の坂田好弘会長(74)は、選手や大学の監督としてよりも、長年務めた同志社高の監督的印象が強かつたという。「本当にラグビーが好きだつた。熱心で高校生を教えるのが好きで仕方がない人。残念だ」と声を落とした。

グビー部元監督伊藤さん死去

く監督としてチームを率いた。

160センチくらいの小さ
な体で、大柄な大八木
(淳史)にも厳しく向
き合っていた」と懐か
しむ。